

モノづくりは人づくり

| 中部(東海・北陸)の主な産学人材育成パートナーシップ事業 | | | | |
|------------------------------|----------------------|----------------------|--------------|------------|
| 講座名 | 教育内容 | 運営管理法人 | 委託事業期間(試行期間) | 自立化年度 |
| 工場長養成塾 | 生産・物流・品質管理 | 名古屋工業大学 | 05~06年度 | 07年度 |
| 生産工程管理者育成プログラム | 生産工程管理 | 金沢工業大学 | 05~06年度 | 07年度 |
| 尾州インパナ塾 | 繊維製品の企画・加工・製造技術 | 一宮地場産業ファッションデザインセンター | 05~06年度 | 07年度 |
| 産学連携「技術者育成講座」 | ニーズを先取りする製品開発技術 | 三重県産業支援センター | 05~06年度 | 07年度 |
| 鑄造カレッジ | 鑄造技術 | 日本鑄造協会 | 05~06年度 | 07年度 |
| メカトロニクス・ロボット分野技術者育成講座 | ロボット技術 | 日本機械学会 | 06~08年度 | 09年度 |
| 工作機械メンテナンス「匠塾」 | 工作機械の保守・保全技術 | 名古屋産業科学研究所 | 07~08年度 | 09年度 |
| 航空宇宙製造中核人材育成事業 | 航空宇宙関連の設計・製造技術 | VRテクノセンター | 07~08年度 | 09年度 |
| 中部組込みソフトウェア技術者養成講座 | 組み込みソフトウェア技術 | 名古屋ソフトウェアセンター | 07~08年度 | 09年度 |
| 環境管理者育成塾 | 環境経営・環境管理技術 | 豊橋キャンパスイノベーション | 07~08年度 | 09年度 |
| 金属熱処理チャレンジャー講座 | 金属熱処理技術 | 中部科学技術センター | 08~09年度 | 2010年度(予定) |
| 農工商垂直統合人材育成事業 | ニューアグリビジネスのための農工融合技術 | 豊橋キャンパスイノベーション | 08~09年度 | 2010年度(予定) |

「モノづくりは人づくり」。製造業の中核・中部(東海・北陸)を支えてきたのが分厚い産業人材の集積だ。しかし団塊の世代の大量退職や少子高齢化で、それも揺らぎつつある。しかも昨今の世界同時不況に伴うリストラが追い打ちをかける。しかし、こうした時だからこそ、原点である人づくりを見つめ直し、人材育成を再構築しようという動きが各方面で始まっている。その一例として中部経済産業局の産業人材育成施策を追った。

次代の匠 産学で養成

期待広がる「パートナー事業」

工場長養成塾は、製造現場の問題に気付いて自ら考え解決に向け行動する産業人材育成パートナー

「金型生産のリードタイムを何とか短縮したいのですが(工場幹部)。「複雑な金型の生産工程をもう一度洗い出してみよう。問題点を見えてきますから(講師)」。名古屋市内のある金型メーカーの工場で、こんなやりとりが繰り返されてきた。経済産業省が推し進める「産学人材育成パートナーシップ事業」の一つとして、名古屋工業大学が主催する「工場長養成塾」の実践課程の一場面だ。

工場長養成塾は、製造現場の問題に気付いて自ら考え解決に向け行動する産業人材育成パートナー



育てリーダー 作業時間などを測定して改善に取り組み受講生(工場長養成塾)

基礎的産業から新産業まで対応

「産学人材育成パートナーシップ事業は05年度にスタートした。地域の産業界と大学などが連携して地場産業や中小企業の中核的な人材を育成するためのプログラムを開発。中小企業支援組織や業界団体、大学が運営管理法人となって実際に教育に当たる。

原則2年間をプログラム開発やその実証に当たる委託事業期間(試行期間)とし、その後、自立化して人材育成を本格化する。工場長養成塾の場合、すでに07年度に自立化し、「毎回の定員24人が満杯になる」(名古屋工大)と人気が高い。

中部経済産業局管内(中部5県)では試行期間の案件も含め16件(08年度未現在)もの事業が進行中。その特徴を見ると自動車や機械など製造業が盛んな土地柄を示すように、鑄造や鍛造、金属熱処理、工作機械保守・保全、繊維加工・製造といった産業を基礎から支えるサポーターディングインダストリーのプロプログラムが目立つ。これら分野は若者に敬遠されがちな3K(きつい、汚い、危険)職場が多いが、長年の経験やカンが必要な匠の世界だけに人づくりに難しく、同事業にかかる期待は大きい。

ロボット技術、組み込みソフトウェア、環境管理など近年、産業界で求められている技術者や、航空宇宙、ニューアグリビジネス分野といった新規産業の担い手を育てる挑戦も始まっている。